

科目名称	日常生活活動学
授業コード	AD227
英語名称	Activities of Daily Living
学期	2024年度前期
単位	1.0
担当教員	西條 富美代, 五味 雅大
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	理学療法士を目指すうえで必要な日常生活活動学（ADL）の概念と具体的内容を理学療法士として臨床経験のある教員の講義および実技を通して学習する。また、障がい者のADLの評価方法について学習し、ADLの評価や指導ができるようにする。
科目に関連する実務経験と授業への活用	理学療法士を目指すうえで必要な日常生活活動の概念、評価方法、指導方法などについて、理学療法士として臨床経験のある教員が講義を行う。
到達目標	ディプロマポリシーに掲げる基本的な理学療法を实践できる知識と技術を身につけることを目標とする。 1.ADLの基礎的知識を習得し、ADL技術を身につける。 2.基本動作の指導方法、介助方法を身につける 3.ADL関連の評価ができ、患者・家族指導ができるようにする。
計画・内容	1) 日常生活活動の概念・意義・範囲 担当：西條・五味（理学療法士） 2) ADL評価表による評価について 担当：西條・五味（理学療法士） 3) ADL工程における評価について 担当：西條・五味（理学療法士） 4) 基本動作（起居動作）の評価・指導 担当：西條・五味（理学療法士） 5) 基本動作（移動動作）の評価・指導 担当：西條・五味（理学療法士） 6) セルフケア動作の評価・指導 担当：西條・五味（理学療法士） 7) 日常生活関連活動の評価・指導 担当：西條・五味（理学療法士） 8) 疾患における日常生活活動の考え方 担当：西條・五味（理学療法士）
授業の進め方	・講義・演習を中心に授業を進める。 ・演習やグループワークでの活動がありますが、積極的な参加意欲を持って臨んで下さい。
能動的な学びの実施	・アクティブラーニングを取り入れ、実習や演習を適宜行う。
授業時間外の学修	・授業前に予め教科書の該当箇所を読み、不明な点をまとめておくこと（各回1時間～2時間） ・教科書やプリントと関連付けて自分の講義ノートを整理すること。（合計20時間程度）
教科書・参考書	教科書：15レクチャーシリーズ 理学療法・作業療法テキスト ADL・実習 編集者：石川 朗 出版社：中山書店
成績評価方法と基準	定期試験（60%）+レポート（40%）
課題等に対するフィードバック	提出課題については、授業内でフィードバックを行い、コメントを付与して返却する。

オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	講義内で実技を行うこともあるため、実技可能な服装で出席のこと。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 ・Zoomによるオンライン授業と課題学習を組み合わせで実施する。 成績評価方法 ・授業ごとの課題50%+総合課題50%